

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分～1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



ROTARY
SERVING
HUMANITY

創立 1967年12月26日

- 会長 大東 弘
- 幹事 田川 和見
- 会報委員長 小林 誉典

大東ロータリー会長テーマ

「温故知新」

2016年～2017年度
国際ロータリーのテーマ

人類に奉仕するロータリー

第2660地区ガバナー方針
「The Ideal of service」

国際ロータリー会長

ジョン・ジャーム

松本 進也

平成29年2月7日

No.2366

H29.1.24 (No.2365の例会記録)

今週の卓話 (2月7日)

「6重点分野と国際奉仕事業」

担当 東村 正剛 国際奉仕委員会委員長
ゲストスピーカー

地区 国際奉仕委員長 木田 昌宏 氏
委員 泉 光典 氏

次週の予定 (2月21日)

「三好長慶物語」

藤本 和俊 会員

先週の例会報告

◆ 出席報告 (1月24日分)

会員数 39名 出席数 32名 欠席者 3名

特定免除 4名 その他免除 0名

出席率 91.43%

前々回1月10日分

ホームクラブの出席者 32名 88.89%

メイクアップの結果 34名

特定免除 3名 その他免除 0名

欠席者 2名 修正出席率 91.89%

お知らせ

- ・2/7 第1回クラブ戦略計画委員会 例会後～
- ・2/7 国際奉仕委員会 情報集会 18:00～
- ・2/11 地区チーム研修セミナー 13:30～
- ・2/14 例会休会
- ・2/21 ガバナー補佐エレクト 懇談 11:30～
- ・2/25 地区 米山 歓送会 17:30～

- ・3/4 米山 感謝祭 18:00～
- ・3/11 地区 PET (研修セミナー)
- ・3/12-14 台北雙溪 RC 26周年記念式典参加
- ・3/14 例会休会
- ・3/25 ロータリーデー (旧IM) 13:00～
- ・3/28 50周年第3回実行委員会 例会後～

- ・4/15 地区 地区研修・協議会 13:00～



ニコニコ箱

後面に記載

皆さん今日は。

先週から本格的な冬形の気候となり、寒波が訪れております、昨日も雪が降っておりましたが交通渋滞を引き起こすまでにはならなかった様でした。

暦の上では先週の金曜日 20 日が大寒で、一年中で一番寒い日と言われております。そして関西では東大

寺のお水取りが終わるまでは、寒い日が続くと言われております。またインフルエンザが流行っているようです。

今週の木曜日職業奉仕の一環として、市立谷川中学校で出前授業が予定されておりましたが、対象の 1 年生が学級閉鎖となり、出前授業が中止となりました。楽しみにしていたんですが残念です。皆さんも、体調管理にはお気を付けてください。

さて、先週の 21 日（土曜日）大阪桐蔭高等学校 第 32 期生の卒業式に、中野隆二インターアクト委員長と共に参加してまいりました。会場は桐蔭アリーナ（体育館）で収容人数 3000 人、2 階観客席と大きな舞台のある素晴らしい施設で行われました。ピンと張りつめた緊張感の中で、卒業生 787 人含む全校生 2233 人が一堂に整列して、国歌斉唱・そして大川会員作曲の校歌斉唱で卒業式が始まりました。進行役の先生の号令より、2200 名以上の生徒が一糸乱れず、起立また着席する行動を見て鳥肌が立ち、緊張して参加していました。私語一つ無い厳粛な時間での式典でありました。そして、退場していく卒業生を見ていて思ったんですが、誰一人として卒業の解放感などは見られず、これからが受験本番・引き締まったいい顔をしている生徒ばかりでした。わたしは、最後にクラブ活動をしていた生徒たちが退場する時に、卒業生たちと後輩たちのエールの交換をみて、緊張が解けやっとな暖かいほのぼのとした気持ちになれました。

そして翌 22 日（日曜日）市民会館にて、大東市スポーツ少年団新年交歓会に来賓として参加してまいりました。式典では功労者表彰・優良スポーツ少年団表彰・そして来賓祝辞と進行しているのですが、後ろのテーブルの談笑しているのが目立ち驚きました。その人たちは、何処かのチームの指導者であり保護者であると思います。自分たちのチームの子供たちが、その様な事をしたらきっと注意する人たちであると思うと残念でなりませんでした。

素晴らしい高校生と、ちょっと心配りに欠けた大人をみて、自分を見直した一週間でした。



委員会報告

◎ニコニコ箱委員会

- ・入会記念日 自祝
- ・入会記念日 自祝
- ・入会記念日 自祝
- ・入会記念日 自祝
- ・入会記念日 自祝
- ・結婚記念日 自祝
- ・例会出席ありがとうございます インフルエンザが流行しています
体調管理に気を付けて下さい
- ・周年委員長会 開催に感謝
- ・大東 RC50 周年事業式典 準備よろしくお願い致します
- ・先週は卓話をお聞き下さり有難うございました 感謝
- ・ブライアン・アダムスを観て来ました
- ・東村会員いろいろありがとう
- ・本日もニコニコ ありがとうございます 感謝

- 山田 伸 委員長
- 高島 登 君
- 福富 経昌 君
- 小川 芳男 君
- 小林 誉典 君
- 東村 正剛 君
- 大西 寛治 君
- 大東 弘 君
- 橋本 正幸 君
- 中嶋 啓文 君
- 福富 経昌 君
- 木村 克己 君
- 中野 秀一 君
- 山田 伸 君



歌一首

さびしさに ^{やど}宿を^た立ち^い出でて ながむれば
 いづこも ^{おな}同じ ^{あき}秋の^{ゆふぐ}夕暮れ

訳：さびしさに耐えかねて家を出てあたりを見渡すと、どこも同じ寂しい秋の夕暮れだ。

良暹法師 (りょうぜんほうし)
 良暹。生没年不詳。平安中期の歌人。祇園別当。

「 職業奉仕月間に因んで 」



間 紀夫 会員

<ロータリーの職業奉仕入門>

「ロータリーの樹」はロータリーの職業奉仕を理解する最もよいと資料と思われます。これは、2008年 RI 国際協議会の全体会議において、渡辺好政 RI 理事が「ロータリーの樹・2008」と銘打ってロータリーを「一本の樹」に例えて、ロータリーの奉仕活動における職業奉仕の位置づけを行いながら、「ロータリーにおける職業奉仕の重要性について」の講演を行った時のものを一部修正し、シカゴにおいて開催された「2013年 RI 規定審議会の審議を経て採択されたもので、以下は渡辺好氏の説明です。

「1905年、ポール・ハリスら4名によって創始された最初のロータリー・クラブは、その歴史が示すように、初めに、親睦、助け合いから始まりました。すなわち、ロータリーの樹に水と栄養を送る「根」は「クラブ奉仕」であります。ロータリー・クラブ会員は、クラブという学校で相手のことに思いを馳せ、相手を助けるという『奉仕の理想』を学び、その真意が『共存共栄』であることがわかります。『クラブ会員』は、ロータリーの目的を基本として、H.テラーによって実証され、ロータリアンの行動規範である「四つのテスト」による奉仕活動の実際を体得することによって、『ロータリアン』に進化してまいります。ロータリー・クラブ会員からロータリアンに進化してゆく過程の基盤には、E.コリンズの『超我の奉仕』、A.シェルドンの『もっとも奉仕するもの、最も多く報いられる』が存在いたします。私たちは、この2つのモットーを1枚のコインの表・裏と考えながら、日常の奉仕活動に邁進しております。ロータリーは「理念の高唱」に終わるのではなく、「行動の哲学」なのであります。」



奉仕の思想の確立

1911年ベンジャミン・フランクリン・コリンズは「ロータリーの奉仕というものは、自分を犠牲にして宇宙を支配している神に帰依すること、これがロータリーの奉仕であると「Service not self」を提唱した。これに対し、アーサー・フレデリック・シェルドンは「ロータリーは宗教的なクラブではない、自己犠牲は行き過ぎだ」とし、「Service above self」（超我の奉仕）を提唱した。そして、シェルドンの「超我の奉仕」ロータリーの奉仕の理念となった。さらに、1921年にシェルドンはロータリーの行動理念として「One profits most who serves best」（他人に最もよく奉仕する者が、最も多く報いられる）を提唱した。こうして、これらが奉仕の理念となった。

2つのスローガンは渡辺好政の言うようにコインの裏表の関係
つまり理念と行動理念の関係にある

Q&A

<ロータリーの樹について>

Q ロータリーの樹は成長していくのでしょうか？

A 樹ですから当然成長していきます。年輪を重ね幹は太っていきます。また、樹になる果実も変わっていくことでしょう。しかし「根」と「幹」は変わりません。私たち会員は、幹が太ってゆくよう奉仕活動を行っていかねばなりません。成長をとめないで成長を続ける樹であり続けること、そのためには奉仕を実践することが必要でしょう。ロータリーの奉仕の哲学の根底には人づくりがあり、2つのモットーと四つのテストを常に心に置きながら行動しなければなりません。

Q ロータリーの奉仕とロータリーの職業奉仕の違いはあるのでしょうか？

A ロータリーの職業奉仕は、ロータリーの奉仕の理念をもとに職業を通して奉仕することと考えられます。このように考えると、ロータリーは職業人のあつまりですから、ロータリーの職業奉仕とロータリーの奉仕と同じであると解釈してもいいのではないのでしょうか。

Q 具体的にはどのような職業奉仕はふさわしいのでしょうか？

A 現在最も求められているものは何でしょうか？不祥事が多発し、国の間の対話も成り立ちにくくなっている状況を鑑みると、若い人の人材育成がそれだと思われます。それも国際的視野をもって、若者を見守る、若者と対話する、若者に交わって遊ぶ、若者と活動するこのなどが大切なのではないでしょうか。ロータリアンの立派な職業人としての背中を見て学ぶことは沢山あるでしょうし、素晴らしいことでしょう。人材育成が主眼ですので、知識の伝達というより、人間教育・道徳教育の側面が強調されるでしょう。また、ロータリーの奉仕の理念である「相手を思いやる心」を持って、若者と接することが大切でしょう。

Q ロータリーと他の団体とどう違うのでしょうか？

A 多くの他の財団は寄付をおもなる活動としています。これはロータリーの言葉でいえば「We serve」に対応します。ロータリーは、これに加え「I serve」の2つの serve を両輪として活動している団体です。クラブの考え方、ロータリアンの考え方は多様でしょうから、さまざまな「I serve」が行われていることでしょうし、どの活動も素晴らしいものです。ロータリーは奉仕を実践している集まりなのです。

Q 例会出席と職業奉仕とはどのような関係にありますか？

A ロータリーの例会は「人づくり」の場です。ここで様々な考え方に会い、自らを高めていくことが求められています。例会で自らを高め、さまざまな職業活動を通して人づくりを行い、さらに自らを高めてゆくという、「例会→職業奉仕→例会」という循環の最初のステップです。ロータリーはこのことから例会出席を活動の重要な要素と考えています。

Q 職場で、ロータリーの倫理基準を推進するにはどうしたらいいのでしょうか？

A まずロータリーの倫理訓を理解することが大切でしょう。説かれている倫理訓は普遍的なもので、職場に知らしめるためにはハーバード・テーラーの行ったことが参考になると思います。職場の一人一人と同じ目線で語り合うことから始めることが重要でしょう。

Q 企業の社会的責任についてロータリーはどのように考えますか？

A 最近多発している不祥事も企業の指導者の姿勢の問題が大きいと思われます。ロータリーは各分野の代表的な方の集まりですから、ご自分の企業はもとよりお知り合いの企業の代表の方ともロータリーの倫理訓を話し合い理解していただく努力をすることはロータリアンとしてふさわしい仕事と思います。

Q クラブ奉仕と職業奉仕はどのような関係になっているのでしょうか？

A ロータリーの樹で説明されているように、クラブ奉仕はロータリーの樹に水と栄養を送る「根」で、職業奉仕はその上に成長する幹です。水と栄養がなければ樹は育ちません。このことからクラブ奉仕はロータリー活動の最も大切な基盤となる活動です。ここではロータリアンの人づくりが行われます。こうして育ったロータリアンが職業奉仕を行います。幹の先には枝が伸び果実を実らせませす。これらが青少年奉仕、社会奉仕と国際奉仕であるわけです。これらの奉仕は広い意味では職業奉仕に含まれるものであることを示しています。

<ロータリーの奉仕について>

Q ロータリーの奉仕とはどのように実践したらいいのでしょうか？

A ロータリーでは「We serve」と「I serve」という言葉があります。We serveとはIR、地区ロータリー、各クラブで企画し実践している奉仕です。ポリオ撲滅運動、米山奨学生などへのサポート、各クラブの行っている実践活動などのように、財団やクラブへの寄付をもとに行う活動です。これに対し、「I serve」は会員が個人として行っている奉仕活動です。ロータリーの奉仕活動はこの2つの奉仕を両輪として行っています。

Q 「職業」と「奉仕」とは一見別々の言葉ですが、どう結び付けたらいいのでしょうか？

A ロータリーの奉仕は「思いやりの心をもって他人のために尽くす」ということですから、さまざまな局面においての思いやりの心を持って行う奉仕です。また、職業奉仕は職業を通して行う奉仕ですから、ロータリアンは職業活動やクラブでの活動を通して得たものを社会に還元し、奉仕するということになるでしょう。活動も一方的でなく、相手を思いやることが大切です。また、この活動を通してロータリアンにも多くの得るものがあると考えられます。

<職業奉仕の実践>

Q 職業奉仕は具体的にどのように実践したらいいのでしょうか？

A 職業活動やクラブの活動を通して得たものを社会に奉仕することが基本です。ここでは「I serve」について考えましょう。個人が行う職業奉仕ですから、まずご自身の職業活動についての奉仕が考えられます。ここで中心となるキーワードは「人づくり」でしょう。このことは、RI 会長が何回も言及されています、企業モラルが失われつつある現在、最も重要視されるべきことと考えられます。ご自身の職場での活動についてはいうまでもないでしょうから、社会に対しておこなう職業奉仕の実践ということになるでしょう。職業活動やクラブの活動を通して得たものを社会に奉仕するのであれば、どのような活動も素晴らしいことでしょう。

Q 若者にどのようなことを話すのがいいのでしょうか？

A ロータリアンの皆様の経験とくに自己と成長と夢の実現のお話をするのは、若者を勇気づけます。今の状況は努力して得られてものであることとお話しいただくのはふさわしい話題でしょう。たとえば、切り口として「夢」「生命」「絆」などのテーマで自分の人生の経験をお話するのはどうでしょうか。これらの活動で中学生や高校生に話しかけると、相手を思いやる心が大切です。上段からの知識を与えるといったことは避けたいものです。

<その他>

Q 3つのスローガンの関係はどうなっているのですか？

A 「超我の奉仕」は奉仕の理念を、「他人に最もよく奉仕する者が、最も多く報いられる」は行動理念を表すと考えられ、ちょうどコインの裏表の関係となっています。日々、奉仕の理念を実践したかどうかをテストする（行動規範）ためのものが「四つのテスト」です。

Q 四つのテストの第3番目の「好意と友情を深めたか」は何のためにあるのですか？

A これがロータリーの本質的なところと考えられます。ほかのテストはすべて「Yes」「No」で答えられますが、このテストはそうではありません。このことは、ロータリーは「人づくり」、つまり「自分づくり」が基本になり、「他人づくり」につながることを言っているのです。

Q 一業種一会員制は何のためにあったのですか？

A 当初からこの制度がありました。これは異業種の会員との交流で様々な考え方を吸収し自分を成長させることを目指していたといえるでしょう。この制度のおかげで、クラブは次々と子クラブをつくり、多くのクラブが誕生したわけです。

Q 現在、職業奉仕はRIで軽視されているのではないですか？

A そのような傾向はあると思います。職業奉仕の考えが矮小化されていきますと、他の団体との差は小さくなることでしょう。ロータリーは企業経営者の集まりで、奉仕の理想に基づいて「人づくり」を実践している団体という考えを基本に、将来のロータリーのあり方を考えていく必要があるように思われます。ロータリーへの主婦を入会を可能にするという問題も、ロータリーの職業奉仕という観点から考えることが重要でしょう。

Q 2014-2015年度RI会長のラビンドランさんの標語「to be a gift to the world」は何を意図しているのですか？

A gift から何をイメージしますか。それは相手にわたる、手渡すものでしょう。present は少し抽象的ですが、gift は個人が個人に手渡す具体的な“もの”を思わせます。ロータリーの奉仕はこのように、寄付だけでなく個人が個人に手渡すような活動が大切であるといっているのであると思われます。

Q 人づくりは日本的な考え方ですか？

A 日本人にはとても分かりやすい考え方と思います。本文の注釈で書いたように、歴代のRI 会長も人づくりは大切だと力説しています。ロータリーは職業を通した人づくりの実践団体であると考えてるのは妥当と思われます。

Q 会社で人を雇い、利益をあげて納税することが職業奉仕と言えるでしょうか？

A このことは会員であれば当然行わなければならないことです。しかし、このことだけに閉じこもっては真のロータリアンを目指すことはできないでしょう。会員は自ら奉仕実践することでロータリアンに進化して行きます。



大東RC創立50周年 第2回実行委員会 開催

平成29年1月24日（火）例会終了後、大東RC創立50周年 第2回実行委員会が開催されました。



平成29年1月24日（火）午後6時から、場所 まんま家於 職業奉仕委員会の情報集会が開催されました。



◇2016～2017 年度
第 2660 地区 第 3 組 **ロータリーデーのご案内**◇



日時 2017年3月25日（土）
 登録 13:00～ 開会 13:30
 場所 メセナ枚方 多目的ホール
 講師 地球ステージ 桑山紀彦氏
 精神科医、診療内科医、医学博士
 NPO 法人地球のステージ代表理事
 ホスト くずはロータリークラブ

※会場には駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用ください。